

● 赤い宝石の鳥の声は？

遠くから「キョツ、キョツ、キョツ
キョキョキョ・・・」という声が聞
こえてきました。

なんの鳴き声でしょう？

ヒクイナの繁殖期の声です。

古くは「戸を叩く音」として歌や文
学に表現されてきました。

ヒクイナは、なかなか目にすること
ができませんが、たいへん美しい鳥
です。

私はこの鳥を初めて見たとき、赤い
宝石のような鳥だとその姿に魅了さ
れてしまいました。



つい先日（2025年3月14日）千葉県市川市の河川で、ヒクイナが盛んに川面をつついていると
ころを見ました。

写真を撮って拡大してみると、ヒクイナが食べていたのはユスリカの仲間の成虫でした。



川面を漂
うユスリカ
を食べる
ヒクイナ

ユスリカの幼虫は水中で生活するいわゆる赤虫です。川面で蛹から羽化して、翅が乾くまで水面
を漂っています。

ヒクイナは水面を漂ってきたユスリカを食べていたのです。

ヒクイナは雑食性で主に水生の小動物を食べていますが、ユスリカの仲間も食べているとは知り
ませんでした。

ヒクイナは千葉県レッドリスト(2019)でAランクの最重要保護生物に指定されています。

1970年代までは全国の湿地に夏鳥として生息していましたが、1990年代になると生息地である
湿地環境の悪化のためか見られなくなった地域が拡大しました。ところが2000年代になると
徐々に越冬地の分布が四国、中国、近畿、東海、関東地方へと北上し、それに伴い繁殖分布も拡
大してきました。

ヒクイナは東南アジアやインドなどに広く分布する南方系の鳥なので、温暖化が分布拡大にも影
響している可能性があります。また、近年の急激な休耕田の拡大も関係しているようです。これ
からどのように分布を広げていくのか、たいへん興味深いですね。（越川重治）